

第6回 川口中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和4年(2022年)1月15日(土)9:30～12:30
場所	川口中学校 被服室
出席者	参加者:荒井、稲原、白鳥(信)、高野、田倉、田野倉、外山、内藤(佳)、中村、平井、古田 安田、山口 高齢者あんしん相談センター川口:小林、太田 高齢者あんしん相談センター恩方:勝野、長内 第1層生活支援コーディネーター:今泉 社会福祉協議会:上里 八王子地域 PAL-ETTE:小熊、榎本 未来デザイン室:野田、安齋、牧瀬 RPI:笠原、丸木、伊藤、藤原
見学者	八王子未来 CAN-VAS:石井
配付資料	・第6回川口中学校区地域づくり推進会議資料 ・資料1:川口中学校区地域づくりワークショップ【アクションプラン】検討結果 ・資料2:川口中学校区アクションプラン検討用ワークシート【最新版】 ・資料3:川口中学校区(川口地区)の地域づくりに関するアンケート調査(速報版) ・資料4:川口中学校区地域カルテ(案) ・資料5:地域づくり推進会議の運営方法について ・【事前検討資料】地域固有ページの掲載情報について

1. 開会

未来デザイン室から挨拶。

2. 議題

(1)地域の将来ビジョンを確認しよう

ア 決定した地域の将来ビジョンの振り返り

事務局より第4回推進会議において決定した地域の将来ビジョン「住みたくなる、住み続けられるまち川口～自然と共生し、大人から子どもまでのつながりを大切に～」を読み上げ、決定に至った経緯も改めて振り返りながら2月の地域フォーラムで発表することを説明した。

イ 地域の将来ビジョンの確認

事務局より地域の将来ビジョンについて、参加者から変更の要望等がないことを確認した。

(2)アクションプランを具体化しよう

ア 地域づくりワークショップの検討結果の振り返り

事務局より、資料1「川口中学校区地域づくりワークショップ【アクションプラン】検討結果」をもとに、川口中学校区地域づくりワークショップにおける「アクションプラン」の検討結果を振り返った後、各グループに分かれて優先的なアクションプランの検討を進めることを説明した。

事務局より「推進委員の設置」については、推進会議の体制に関わる議論となるため、推進会議全体での議論に移行すること、これまで「推進委員の設置」を議論いただいていた参加者は、「コミュニティカレンダー

ー」または「マルシェ」に移動していただくことを説明し、参加者より同意を得た。

イ 優先的アクションプランの実行に向けた具体的な検討

資料2「川口中学校区アクションプラン検討用ワークシート【更新版】」を用いて各グループで優先的アクションプランを検討した。主な検討内容は以下のとおり。

【コミュニティカレンダー】グループ

- ・ カレンダー作りを発案者だけが行うのは負担が大きいため、実施体制はあらためて検討すべき。
- ・ 住民協議会のような既存組織があるため、新しい会議体や組織を立ち上げるのではなく、住民協議会のプロジェクトの一つに取り込むのはどうか。一方、住民協議会以外にもまちづくりを行う団体があり、住民協議会で他団体の情報を集めきれない場合の情報収集が課題となるのではないか。
- ・ 既存組織には、新しい人が入りにくい可能性があるため、まずはコミュニティカレンダーに限定した活動に参加してもらい、それをきっかけに住民協議会や他団体に関わってもらえることできる。
- ・ まずは地域の団体から情報を集約し整理することで、今後の情報収集のためのグループのあり方を考えてはどうか。

< 決定事項 >

地域フォーラムの発表者は外山氏。

【マルシェの開催】グループ

- ・ マルシェの開催にあたっては、有志4名で推進会議以外の場でも検討を行った。開催に向けて具体的な議論を行ったものの、有志のみで動くことの限界を感じ、住民協議会に協力を仰ぎたいと考えた。
- ・ 住民協議会では、「七夕まつり」「こどもまつり」「やまゆり館まつり」を実施しており、これらのいずれかと一緒にマルシェを実施するのがやりやすいのではないか。その際は、マルシェの開催に向けて実行委員会を住民協議会内に立ち上げ、そこにPTAや青少年対策委員会などから協力を募って参加してもらうことが想定できる。

< 決定事項 >

地域フォーラムの発表者は中村氏。

ウ アクションプランに関する所属団体への確認

事務局より推進会議参加者が所属している各団体に対し、アクションプランの内容を共有し、第7回の推進会議までに意見を集約して持ち寄ることを依頼した。

(3) 地域カルテ(地域固有ページ)を検討しよう

ア アンケート結果(速報版)の共有

事務局より資料3「川口中学校区(川口地区)の地域づくりに関するアンケート調査(速報版)」を用いてアンケートの回収状況・結果の概要を報告した。特に、川口中学校区の魅力として、「自然環境」を挙げる回答が最も多く、次に「良好な暮らし」が多かったことを紹介。

イ 地域固有ページの作成

事務局より資料4「川口中学校区地域カルテ(案)」の地域固有ページを参照しながら、「伝統芸能」と「自然名所」の各グループで検討を行った。各グループの検討結果は以下のとおり。

【伝統芸能】グループ

- ・ 掲載事項は、獅子舞、お囃子に加えて、子ども獅子、学校への出張講座などが挙がった。
- ・ 獅子舞やお囃子を継承していくために、単なる説明ではなく、見た人が参加できるような情報(場所・開催日・問い合わせ先)を掲載する。また、担い手が不足する中で継承の工夫を行っていることも紹介する。
- ・ 既存の冊子やネットにある情報だけでなく、興味関心が湧くような画像を掲載する。
- ・ 伝統芸能の保存会の SNS 情報を二次元コードで掲載し、常に最新の情報にアクセスできるようにする。

< 決定事項 >

地域フォーラムの発表者は安田氏。

【自然・名所】グループ

- ・ 自然・名所のおすすめ情報のうち、植物や生き物に関するものは、乱獲の防止や自然保護の観点から、本文中に場所が特定できないかたちで示す。
- ・ 名所については高丸山、今熊山のほかに、白山神社、上川の里、川口中学校のふるさと学習室、地区内にあるベンチが置かれた休憩スポットなどが挙がった。
- ・ 川口エリアについては、冊子「川口地区の今」に掲載されている情報を載せ、美山エリアについては、参加者から別途情報を提供していただくこととした。
- ・ 二次元コードで動画情報を掲載する案もあった。

< 決定事項 >

地域フォーラムの発表者の美山エリアは荒井氏、川口エリアは稲原氏。

<参加者からのコメント>

- ・ 高丸山を掲載するのであれば、天合峰も掲載したほうが良い。
- ・ 地域固有ページに仮で入っている文中に「川口中学校区」とあるが、「川口地区」で良いのではないかと。ほかのページは川口地区になっている。
表現を工夫して掲載したいと考えている。(未来デザイン室)
- ・ 推進会議の参加範囲について、川口中学校区ではなく川口地区のほうが良いのではないかと。地域づくり推進事業は中学校区を基礎単位としているが、地域の皆様からのご意見をいただきながらどこまで調整できるかは検討したいと考えている。この推進会議は、川口中学校区単位で集まっていたため、檜原や犬目からの参加者がいないため、カルテ名は川口中学校区の参加者の皆様が作成したという意味で、「川口中学校区」と表記し、第2版、第3版のところで検討したい。(未来デザイン室)
- ・ 最初のイメージが重要。「川口中学校区」から「川口地区」に変更するときに混乱が生じるので、はじめから「川口地区」としたほうが良いのでは。
- ・ 中学校区の単位は市の方針で決まっていることであるので、今から変えるのは難しいのではないかと。
地域カルテにおいては、市で表記上の調整がどこまでできるか整理し、提示したい。(未来デザイン室)

(4)地域フォーラムの内容を確認しよう

ア 地域フォーラムの内容確認

事務局より2月6日(日)に地域フォーラムを予定していること、地域フォーラムではワークショップ同様、推進会議以外にも参加者を増やして実施すること、開催内容案を説明した。

イ 発表者の検討と決定

地域フォーラムの発表者は以下のとおり。

- 地域カルテ(地域固有ページ):安田氏(伝統芸能)、
荒井氏(自然・名所:美山)、稲原氏(自然・名所:川口)
- 地域の将来ビジョン:内藤(佳)氏
- アクションプラン(コミュニティカレンダー):外山氏
- アクションプラン(マルシェの開催):中村氏

(5)地域づくり推進会議の運営方法を確認しよう

事務局より資料5「地域づくり推進会議の運営方法について」を用いて、地域づくり推進会議の今後の運営について説明した。令和4年度(2022年度)は、令和3年度(2021年度)の課題をふまえ、参加者の納得や共感をより得ながら、効率的な合意形成ができる場としていくことが確認された。

また、令和4年度以降の運営方法の検討を参加者の皆様とともに進めていくことを前提に事務局案として、役員会(仮)の設置(推進会議の前後の打合せを行う場)を提案した。参加者からの主な意見は以下のとおり。

<参加者の主な意見>

- ・ 三役について、町会では、正・副・会計の三役、事務局は有償の職員を雇っている。この役員会でも有償で事務局を雇うべき、また、市の職員も構成員として入るのが望ましい。
- ・ 来年度は、檜原を含めた「川口地区」として検討したほうがいい。
- ・ 役員会という新しい組織を作るのも良いが、住民協議会を活用できないか。
- ・ 川口地区には現在、町会自治会連合会、住民協議会という組織がある。新たに役員会を設けるとなると、既存団体の人が新しい組織にも加わることで負担が増える。最終的には組織は集約すべきと考えるが、それまでの負担が少ない運営方法を検討してほしい。

3. その他

未来デザイン室から以下の事務連絡を行った。

- 長期ビジョンの素案について本日よりパブリックコメントが始まったので、是非ご意見を寄せてほしい。
- 地域フォーラムについて、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、事務局にて開催を判断したい。開催が決定次第、参加者のご紹介をお願いしたい。その際は改めて事務局からご依頼する。
- 地域フォーラムを開催する場合は、2月6日(日)13時30分から15時30分、川口市市民センター体育室での開催となる。当初予定より1時間短縮しての実施を予定している。

以上

第6回 川口中学校区地域づくり推進会議 ワーク内容

アクションプランを具体化しよう【コミュニティカレンダー】

担い手

担い手 =
言い出しっぺ
ではNG

主体を明確に
すること

核となる組織

中心となるのは？

既存組織か、新規組織か

既存組織

既存組織
↓
掛け持ちしている人
が多い

推進会議と既存組織
が連携する

新規組織は関係者が
分散するのでは？
みんないろいろやっ
ている。

既存組織にてこ入れ
(予算・人材...)

既存組織
(住民協等)に
活動部隊を作る

代表の団体を
決めておいて、
他の団体が情報を
伝える

地域団体の集約が
むしろ必要

情報集める
↓
住民協に提供

NPO街づくり上川

活動範囲

中学校区より
住民協の範囲を
ベースにしては

美山～檜原の地域と
して考える

学区だと複数区域を
包括できるのは
メリットでは

名前を
わかりやすく

中学校区の
ネーミングは
わかりにくい

中学校区をまたいで
参加できるのか？

情報収集

各組織の現状把握
(各月のイベント)

住民協で幅広い団体
を包括できる

各団体が集まる場所
だけあればよい

紙だけだと
若い人は見ない

各団体の情報を
洗い出してどれを
ピックアップするか、
入れるか検討しては

各団体から情報をあ
げてもらうルールと
仕組みを作る

この作業で「担い手」の
検討にもつながるのでは

発信方法

第6回 川口中学校区地域づくり推進会議 ワーク内容

アクションプランを具体化しよう【マルシェ】

誰が運営するのか（担い手）

有志による実施の限界

今集まっている人だけだと平日に動けない、個人レベルでやるのは不可能

住民協など他団体との連携

住民協の協力が得られると実現しそう？
→活動の一つとして取り入れてもらう

設備もバスの運営の経験があるので母体としては適切なのでは

町会の配食サービスと連携

地域のためであるから、コミュニティカレンダー班とも連携して考えたい

人手不足は住民協も課題

住民協も人手不足なので、さらに他の団体の助けも必要

担い手を増やすには
→今あるものを活かしていくことも必要
リニューアルなど

どこも人手不足なので、様々な団体の協力してもらうのは難しいのでは

→まずは住民協だけでやってみる

マルシェをきっかけに人が集まるプラットフォームに

マルシェに参加する人も楽しめるように

地域創生が目的のマルシェなので、マルシェという形にこだわらずプラットフォームづくりが重要

開催時期・期間

とりあえず年1回
少しずつ発展させる

開催する回数は年一回くらいのほうが負担が少ないのでは

将来的なところは少しずつ考える

12月の開催は？
助成金をもらってしまおうと開催しなくてはいけない

既存のものを利用していく

既存のものを活かす
→今まであるものにとってもよいものに変えていく

持続可能な地域活動のために、今行っている活動を見直す

住民協のお祭り
11月・3月
マルシェもイベントとして参加

場合によってはお祭りをマルシェに変更してもよい

お金

必ず有償でないと続かない

経営感覚
→行政の助けがなくてもやっていたりできるように

市からの資金提供は難しい

お金集めという点からも住民協は良いのでは

第6回 川口中学校区地域づくり推進会議 ワーク内容

地域固有ページを検討しよう【伝統芸能】

体裁

見開きページにする

伝統芸能の課題

担い手不足

教える側の高齢化

市街化調整区域問題

人が増えない

出店はあるが
来場者が少ない

出店が減少
↓
町会が出店の負担

ページのねらい

伝統芸能の承継

時代に合わせた
参加ができる

読者・期待する反応

(参加しに)
戻ってきてほしい

地元の人にも

子どもに見せたい

まずは
ぜひ見てもらいたい

掲載情報の工夫

(説明だけではなく)
課題を載せる

参加できる情報

場所・開催日

問い合わせ先

写真

他の媒体と同じような
写真にしない
(おもしろくない)

「川口地区の今」
(2012)のものを
使う?

地元の人が
撮ったものが良い

団体イチオシ写真

練習風景
↓
若手育成にもなる

その他の掲載情報候補

学校への獅子舞
出張講座(今熊)

子ども獅子

確認が必要な情報

犬目(囃子)
田守(獅子舞)
情報収集必要

今の情報を伝える工夫

SNSをしている保存団
体もある

QRコードなど
掲載し誘導する

第6回 川口中学校区地域づくり推進会議 ワーク内容

地域固有ページを検討しよう【自然・名所】

川口

本「川口地区の今」に書いてある内容を使う

橋めぐり	名前の由来が おもしろい	川口中学校 ふるさと 学習室	古民家風 昔の人の暮らし	ホタル	ホタルを推しすぎ 自然破壊に つながると怖い	ホタルは少し載せる くらいにしたい そのほかの自然も
白山神社	最近改装して きれいになった のでおすすめ	七福神	険しい道 ダイエット コースとしては 良いかも	北浅川	長瀬のような場所 野鳥	
上川の里		今熊山	滝、ご来光	カタクリ		
		休憩 スポット	誰かが設置した ベンチあり 名所ではないが おすすめ	サンショウ ウオ		

美山

採石場で仮面ライ ダーの撮影	夜景もキレイ	
ただし、 採石場は入れない	地層も貴重	美山ウォーキング マップ

カルテへの掲載方法

見開きにして 川口・美山の 情報掲載 → 伝統芸能と自然 名所も混ぜて	美山と川口の エリア別に
生き物、植物など 守りたい自然は 本文に掲載。 (場所を示さない)	QRコードで 子どもが説明する 動画を載せる